



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月7日

上場会社名 シキボウ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3109 URL http://www.shikibo.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 清原 幹夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 上席執行役員 (氏名) 竹田 広明 (TEL) 06-6268-5411  
 コーポレート部門長  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	28,729	△5.4	1,463	△12.6	1,192	△17.5	809	△5.1
2019年3月期第3四半期	30,367	△0.8	1,673	△19.0	1,445	△18.2	852	△23.4

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 704百万円(△11.9%) 2019年3月期第3四半期 798百万円(△36.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	75.02	—
2019年3月期第3四半期	78.95	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	85,362	32,711	36.8
2019年3月期	84,949	32,460	36.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 31,378百万円 2019年3月期 31,101百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2020年3月期	—	0.00	—		
2020年3月期(予想)				40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,300	△1.2	2,300	△4.4	1,900	△10.1	1,300	—	120.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	11,810,829株	2019年3月期	11,810,829株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,024,225株	2019年3月期	1,027,097株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	10,785,472株	2019年3月期3Q	10,795,707株

- (注) 当社は株式報酬制度（役員向け株式給付信託）を導入しており、株主資本において自己株式として計上されている役員向け株式給付信託に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益金額の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の緩やかな回復基調が続いているものの、米国を中心とする通商問題の動向、中国経済の先行きや英国のEU離脱問題等により世界経済は不透明な状況で推移しております。

このような状況の中、当社グループは持続的成長に向けたチャレンジの最終ステージとして、昨年度、中期経営計画「Challenge to the Growth final stage 2018-2020」をスタートいたしました。繊維セグメントでは「自らの得意とする市場に対し独自技術で独自の素材の供給」と「企業間取引(B to B)の強化」、産業材セグメントの産業資材部門では「国内基盤の維持・強化と海外販売の促進・拡大」、機能材料部門では「新中核事業に位置付ける化成品事業、複合材料事業のさらなる業容拡張と収益拡大」を事業戦略に掲げ、取り組みを推進しております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は287億29百万円(前年同期比5.4%減)、営業利益は14億63百万円(同12.6%減)、経常利益は11億92百万円(同17.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億9百万円(同5.1%減)となりました。

#### (繊維セグメント)

原糸販売事業は、国内市場においては中高級衣料品の需要低迷の継続により各種産地向けが苦戦いたしました。一方で、海外市場においてはベトナム、インドネシア生産糸の販売は堅調に推移いたしました。

輸出衣料事業は、中東民族衣装用地輸出が現地の市況回復により、順調に推移いたしました。

ユニフォーム事業は、備蓄アパレル向けユニフォーム生地販売が一部取引先の在庫過多の影響で苦戦し、ニット製品販売も取引先の販売不振により苦戦いたしました。また、利益面でも価格改定効果は出てきているものの、出荷数量の減少や物流費の上昇により苦戦いたしました。

生活資材事業は、リビング分野・リネン資材分野は共に堅調に推移いたしました。

以上の結果、繊維セグメント全体としての売上高は153億90百万円(前年同期比8.5%減)となり、営業損失は1億70百万円(前年同期は1億92百万円の営業損失)となりました。

#### (産業材セグメント)

産業資材部門では、製紙用ドライヤーカンバス事業は、国内の洋紙生産量の減少により、カンバス需要は低調に推移いたしました。客先の設備改造に伴う需要取り込みにより、売上高は前期並みとなりました。フィルター事業は、非鉄金属分野の需要減少が影響し微減収となりました。また、空気清浄機分野では保守点検需要は堅調でしたが、前年度に輸出大型物件が集中した反動から減収となりました。

機能材料部門では、化成品事業は化学品分野の中国向け輸出が需要減少となりましたが、食品分野の増粘多糖類等が堅調に推移した結果、全体では増収となりました。複合材料事業は、電力分野向け複合材料部材は前期並みとなりましたが、航空機用途の受託量が減少し減収となりました。

以上の結果、産業材セグメント全体としての売上高は91億45百万円(前年同期比3.0%減)となり、営業利益は5億72百万円(同29.1%減)となりました。

#### (不動産・サービスセグメント)

不動産賃貸事業は堅調に推移いたしました。サービス事業の物流分野は新規取引先の獲得により、リネンサプライ事業は取引先ホテルが高稼働であったことにより順調に推移いたしました。

以上の結果、不動産・サービスセグメント全体としての売上高は46億84百万円(前年同期比2.2%増)となり、営業利益は15億12百万円(同1.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は853億62百万円となり、前年度末に比べ4億13百万円の増加となりました。これは主に、売上債権が減少したものの、現金及び預金、有形固定資産の増加によるものであります。

負債は、526億51百万円となり、前年度末に比べ1億63百万円の増加となりました。これは主に、仕入債務が減少したものの、有利子負債の増加によるものであります。

純資産は、327億11百万円となり、前年度末に比べ2億50百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

これらの結果、自己資本比率は前年度末に比べ0.2ポイント増加し、36.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年10月25日に公表いたしました通期の連結業績予想については変更していません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,713	5,173
受取手形及び売掛金	10,910	9,699
有価証券	150	—
商品及び製品	5,358	5,585
仕掛品	1,415	1,532
原材料及び貯蔵品	999	1,244
その他	833	1,039
貸倒引当金	△50	△36
流動資産合計	24,331	24,237
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	41,919	43,686
減価償却累計額及び減損損失累計額	△30,724	△31,271
建物及び構築物(純額)	11,195	12,415
機械装置及び運搬具	27,157	26,661
減価償却累計額及び減損損失累計額	△25,147	△24,616
機械装置及び運搬具(純額)	2,010	2,044
工具、器具及び備品	1,574	1,567
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,464	△1,435
工具、器具及び備品(純額)	109	132
土地	40,853	40,757
リース資産	2,210	2,244
減価償却累計額	△940	△1,099
リース資産(純額)	1,270	1,144
建設仮勘定	1,381	1,101
有形固定資産合計	56,821	57,596
無形固定資産	208	259
投資その他の資産		
投資有価証券	1,247	1,219
繰延税金資産	1,931	1,654
その他	465	466
貸倒引当金	△56	△71
投資その他の資産合計	3,588	3,268
固定資産合計	60,618	61,125
資産合計	84,949	85,362

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,051	4,134
短期借入金	9,601	9,968
1年内償還予定の社債	2,130	1,290
未払費用	655	548
未払法人税等	401	35
未払消費税等	218	86
賞与引当金	596	296
関係会社整理損失引当金	164	89
その他	1,357	1,596
流動負債合計	20,175	18,045
固定負債		
社債	2,360	3,310
長期借入金	10,925	12,830
リース債務	1,104	977
繰延税金負債	179	177
再評価に係る繰延税金負債	6,452	6,452
退職給付に係る負債	6,412	6,254
役員退職慰労引当金	67	63
修繕引当金	233	30
長期預り敷金保証金	4,149	4,150
長期前受収益	29	—
その他	400	359
固定負債合計	32,313	34,606
負債合計	52,488	52,651
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,336	11,336
資本剰余金	977	978
利益剰余金	7,946	8,320
自己株式	△1,240	△1,237
株主資本合計	19,020	19,397
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	137	107
繰延ヘッジ損益	△19	△6
土地再評価差額金	13,681	13,681
為替換算調整勘定	△1,355	△1,484
退職給付に係る調整累計額	△362	△316
その他の包括利益累計額合計	12,081	11,980
非支配株主持分	1,359	1,332
純資産合計	32,460	32,711
負債純資産合計	84,949	85,362

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	30,367	28,729
売上原価	24,335	22,986
売上総利益	6,031	5,742
販売費及び一般管理費	4,357	4,279
営業利益	1,673	1,463
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	17	19
受取保険金	—	30
持分法による投資利益	16	—
為替差益	20	—
雑収入	44	42
営業外収益合計	103	97
営業外費用		
支払利息	189	177
雑支出	142	189
営業外費用合計	331	367
経常利益	1,445	1,192
特別利益		
受取保険金	7	38
固定資産売却益	9	8
年金資産消失損引当金戻入額	103	—
その他	0	0
特別利益合計	120	47
特別損失		
災害損失	191	37
固定資産除却損	30	34
固定資産売却損	29	11
その他	5	6
特別損失合計	256	89
税金等調整前四半期純利益	1,309	1,150
法人税、住民税及び事業税	433	127
法人税等調整額	10	221
法人税等合計	443	349
四半期純利益	865	801
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	12	△7
親会社株主に帰属する四半期純利益	852	809



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
四半期純利益	865	801
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△103	△30
繰延ヘッジ損益	21	13
為替換算調整勘定	△51	△131
退職給付に係る調整額	61	46
持分法適用会社に対する持分相当額	4	6
その他の包括利益合計	△66	△97
四半期包括利益	798	704
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	785	708
非支配株主に係る四半期包括利益	13	△4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	繊維	産業材	不動産・ サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,815	9,430	4,120	30,367	—	30,367
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	—	463	467	△467	—
計	16,819	9,430	4,584	30,834	△467	30,367
セグメント利益又は損失(△)	△192	806	1,498	2,112	△438	1,673

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△438百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であり  
ます。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	繊維	産業材	不動産・ サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,380	9,145	4,203	28,729	—	28,729
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10	—	480	490	△490	—
計	15,390	9,145	4,684	29,219	△490	28,729
セグメント利益又は損失(△)	△170	572	1,512	1,914	△451	1,463

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△451百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であり  
ます。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。